

バラいっぱいのに ～バラづくりコンクール～

今年で34回目となる「神戸町バラづくりコンクール」の表彰式が行われました。町の花「バラ」を町内の集落や公共施設で栽培し、美しい環境づくりを推進するこのコンクール。31箇所の花壇を、維持管理・デザイン・環境調和の3つの観点から審査しました。最優秀賞には、集落の部では下宮区が、公共施設の部では北小学校が選ばれました。



▲受賞団体の皆さん

●受賞団体

賞	集落の部	公共施設の部
最優秀賞	下宮区 下宮フラワータウンクラブ	北小学校
優秀賞	横井区 長寿会	南平野小学校
	南方区 福寿会	
優良賞	田区 緑松会	神戸小学校
	新瀬古区 楽友会	
	北一色区 高砂会	



▲下宮区 下宮フラワータウンクラブ 代表 飯沼 義照さん
「アーチなどを使い、立体的な花壇づくりをしています。年々見に来てくださる方が増え、嬉しいです。」



▲北小学校 環境福祉委員会
「全体に行き渡るように気をつけて、水やりをしました。最優秀賞に選ばれて嬉しいです。」

栄えある受賞おめでとうございます

「小さな親切」実行章 おもちゃ病院「ばら工房」



おもちゃ病院「ばら工房」は、月1回町社会福祉協議会にて開院。持ち込まれたラジコンやピアノなどのおもちゃをリサイクル部品を使用して修理しています。代表の篠田紀夫さんは、「直ったおもちゃを手にした子どもの喜ぶ顔を見ることができて嬉しい。これからもおもちゃを大切に使うように修理していきます。」と笑顔で話されました。

岐阜県功労者表彰 神戸町食生活改善協議会



神戸町食生活改善協議会は、昭和56年に結成され、町民の皆さまの健康と食生活改善のため、現在32名で活動されています。副会長の吉村幸子さんは、「会員の皆さんの活躍のおかげで賞をいただくことができました」と話されました。

まちの今をお届けします

まちのわだい

更新中！
ぜひ
ご覧ください



Facebook



Instagram

5
23
TUE

ミニミニおひさま祭りが開催

町の子育て支援センター「おひさま」にて、ミニミニおひさま祭りが開催されました。

主任児童委員、子育て支援「ほっと」の皆さんのご協力のもと企画され、19組の親子が参加。ミニバラを使ったフラワーアレンジメントやカード作り、リズム遊びなど、親子で取り組めるコーナーが設けられました。また、会場に遊びに来たばら菜と一緒にダンスを踊ったり写真撮影をし、楽しいひとときを過ごしました。



5
25
THU

生まれ育った地域について もっと知ろう!

南平野小学校4～6年生混合クラブ活動の中のひとつ「神戸はかせクラブ」において、神戸町観光ボランティアガイドの会の寺田弘子会長が講師を務められました。

このクラブは、神戸町についてもっと知りたいという児童が「神戸はかせ」を目指す活動です。第1回目として、町にまつわるイラストや解説が記載された「神戸かるた」を使ったカルタ取りゲームを行い、楽しみながら学びました。寺田会長による南平野地区の解説で、自分の住んでいる地域についてより知識が深まりました。



6
15
THU

100歳訪問

100歳を迎えられた馬淵美代さん（川西）のもとを藤井町長が訪問し、バラの花束や果物ゼリーなどの品を贈りました。

馬淵さんは趣味が多彩で数年前まで料理や家庭菜園、ガーデニング、カラオケ等をして楽しんでいたそうです。また、下宮小学校の用務員として約20年間勤務されていました。



※去る6月21日にご逝去されました。
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

まちのわだい

6
8
THU

綺麗な歯でおいしく食べよう

6月の歯の健康週間に合わせ、歯科検診と歯の大切さや歯の磨き方についての指導が町内の幼稚園と小学校で実施されました。北幼稚園では、園児たちが大きな口を開けて歯科検診に臨み、その後、養護教諭による紙芝居や歯の模型を使ったお話を聞き、健康的な歯にするための指導を受けました。虫歯の原因となる菌は、夜の寝ている時間帯に繁殖するため、特に寝る前の歯磨きが大事であることや、顎の骨が拡大すると歯並びが良くなるので、よく噛むことの大切さを学びました。



5
26
FRI

大切に育てよう 花の苗

揖斐川工業(株)から町内の小学校と幼稚園に花の苗を寄贈いただきました。同社は町内にある「神戸ナーサリー」で園芸用資材や花苗、野菜苗の生産を行っています。

今回寄贈いただいたのはマリーゴールド、ニチニチソウなど計8種類、約900株。花の名前や特徴だけではなく、品種名が分かる資料も寄附先ごとにいただきました。担当の方は「子どもたちに、植物に関心を持ってほしい。大人になったときに花を育てるきっかけに繋がれば嬉しいです」と話されました。



6
19
MON

下小5年生が農業学習

下宮小学校近くに水田を所有する、(株)若松農園代表の若松正憲さんのご協力のもと、農業について学ぶ授業の一環として下宮小学校の5年生23名が田植え体験をしました。AI技術を搭載した田植え機で、田んぼごとの特徴を覚えさせることができるなどの説明を受けました。児童らは実際に田植え機に乗り込み、自動運転をしながら田植えをしてみて機械の正確さや速さに驚きの声を上げていました。若松さんは、「少しでも田植えに興味を持ってもらえたらうれしい」と話していました。



6
14
WED

環境について考えよう

神戸小学校4年生の児童71名が、リサイクルの拠点施設「エコプラザごうど」を訪れ、資源ごみについて学びました。

まず、出されたごみの仕分けや、アルミ缶の回収箱に磁石のついた棒を入れてスチール缶の混入がないかを確認するなど、実際の作業を体験しました。また、ごみは何種類に分けられるのか、回収したものがどこに行くのかなど、積極的に尋ね、リサイクルについての理解を深めました。児童らは「プラスチックの容器などを出すときはちゃんと洗おうと思います」「分別する作業は思ったより面白かったです」と話していました。

